

## 黒毛和種去勢肥育牛の早期出荷技術

平成28年策定の熊本県家畜改良増殖計画は、肥育牛経営においては、肥育もと牛の導入月齢の早期化と肥育期間の短縮等によるコスト削減に努め、10年後には終了時期を24～26カ月齢、肥育終了体重を740kg、肉質等級は4等級を目標とする計画です。そこで、熊本県農業研究センター畜産研究所は、現在29カ月齢で肥育を終了している黒毛和種去勢牛において、肥育前期には粗飼料を多く摂取することにより、肥育中期および後期に濃厚飼料摂取量が高く維持でき、26カ月齢で肥育を終了しても、熊本県家畜改良増殖計画の目標とする体重740kg、肉質等級4等級が期待できることを明らかにしたので紹介します。

### ☆ 技術の概要

1. 給与飼料として、濃厚飼料は肥育前期用配合飼料、同後期用配合飼料または自家配合飼料を、粗飼料はイタリアン乾草、ルーサンペレットおよびイネホールクロップサイレージ（イネ WCS）を用います。また、補助飼料としてバイオバガスを給与する場合があります。
2. 肥育前期は、第一胃の発育を促進させるためにイタリアン乾草を主に多給し、肥育中期および後期は、肥育後期用配合飼料または自家配合飼料を多く給与します。
3. 肥育全期間で濃厚飼料を 4500 kg 程度、粗飼料を 900～1300 kg 摂取させると、26 カ月齢で終了した時の体重は 800 kg 程度となり、肉質等級は 4 等級以上になります。
4. 29 カ月齢から 26 カ月齢に出荷月齢が早まり、飼料コストの低減が可能になることが期待できます。



写真1 黒毛和種去勢牛肥育 26 カ月齢



写真2 黒毛和種肥育枝肉

### ☆ 活用面での留意点

1. 食肉流通関係者は出荷月齢の遅いものを好む傾向にあり枝肉単価は安い場合があります。
2. 肥育後期に濃厚飼料摂取量が減少した時には、ビタミンA製剤を 250 万 IU、2 回投与し、ルーサンペレットも肥育終了まで 1 日 500g 給与します。
3. 詳しくは、熊本県農業研究センター畜産研究所大家畜研究室 守田 智（TEL 096-248-6433）に問い合わせ下さい。